



交流の輪に花が咲く モンゴル文化交流団が訪問

市制施行60周年を記念して、モンゴル文化交流団が4月14日から16日まで本市を訪問し、モンゴル歌舞団の公演や大野小学校で特別授業を行うなど文化交流を行いました。14日にコスモホールで開催された歌舞団の公演では、約600人の観客が、オルティンドー（長い歌）やホーミー（のど歌）などモンゴルの伝統的な音楽を堪能しました。（写真上左：モンゴル文化交流団が市役所を訪問、上右：歌舞団団長のソソルバラムさん、下左：授業を行う「知恵の博物館」館長のトメンウジーさん、下右：歌舞団公演のようす）

阿南室戸108キロ走破 ウルトラマラソン初開催

阿南市から高知県室戸市にかけて海岸線108キロメートルを駆ける「室戸阿南海岸国定公園ウルトラマラソン」が4月29日に初開催されました（NPO法人阿南未来創造社主催）。佐喜浜中学校グラウンド（室戸市）を出発した15人の選手は、沿道で住民からの声援やボランティアの応援を受け、全員完走しました。トップでかまだ岬温泉保養施設にゴールした石川佳彦さん（30歳）は「美しい景観の中、気持ちよく走れました」と話していました。



阿南が誇る先覚者 清原重以知作品展が開催中

阿南市出身の洋画家清原重以知（1888～1971年）の画業を紹介する作品展が、4月21日から徳島県立近代美術館で開催されています。清原は、大正から昭和の時代にかけて日本的な洋画を多数残しました。東洋の精神世界を思わせる静ひつな作品は、日本洋画の到達点の一つといわれています。生誕130周年を機に開催されている特別展示では、同館が所蔵する作品31点や関連資料を展示しています。開催は6月17日まで。



四国勢初！県選抜3位入賞 バスケットボール中学生全国大会

中学生春の全国大会バスケットボール男子で徳島県選抜が四国勢初の3位入賞を果たしました。県選抜は、予選リーグ2連勝で決勝トーナメントへ。1回戦で愛媛に、準々決勝で新潟に勝ちましたが、準決勝で惜しくも岡山に敗れました。県選抜には、阿南中学校からコーチに田中香介さん（教諭・写真右から1番目）、選手に浜田明希さん（3年・同2番目）、森田那知さん（3年・同3番目）、米崎陽海さん（2年・同4番目）が選出、活躍されました。



市内外からも子どもが集う こども科学フェスティバルを開催

科学工作や実験を楽しむ「こども科学フェスティバル」が5月3日から5日、科学センターで開催され、親子連れなど約740人が参加しました。発砲スチロールやかさ袋など身近な材料で凧やロケットを作る工作では、より良く飛ぶように工夫したり、凧にかわいい顔を付けたりと思い思いに工作しました。友だちと参加した川原 萌さん（9歳・那賀川町）は、「さまざまな工作があって、作ったもので実験するのが面白かった」と満足したようでした。



B&G財団から助成が決定 海洋センター複合型施設整備へ

北の脇海水浴場に整備する「阿南市B&G海洋センター複合型施設」に対し、B&G財団より3千万円の助成が決定しました。本施設は、カヌーやヨットなど海洋性レクリエーション設備のほか、海水浴シーズンには監視所としての救護機能、また地域の集会所として利用できる研修室を備える、多目的施設です。4月11日、B&G財団理事長の菅原悟志さんから岩浅市長に修繕助成決定書が授与されました。

公演中の被災を想定 避難訓練コンサート実施

公演中に地震が起きた場合を想定した「避難訓練コンサート」が、4月21日に文化会館夢ホールで行なわれ、観客など約400人が参加しました（阿南市、NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん主催）。徳島県警察音楽隊の公演中に地震を告げるアナウンスが流され、出演者や観客は身を守る姿勢に。その後、スタッフの誘導で同館外まで避難しました。避難後には、阿南防災士の会副会長の青木正繁さんが、災害時の行動について解説しました。

